

筑波大学 医学群

〒305-8577 茨城県つくば市天王台1-1-1

TEL 029-853-2111(代表)

●基礎医学

講座		氏名		研究内容
解剖学	神経内分泌学	教授 久野 節二 准教授 野上 晴雄 講師 首藤 文洋	Setsuji Hisano Haruo Nogami Fumihiro Shutoh	・快適な生活に必要な環境因子の探索、特に日々の生活の中で受けるストレスを和らげ、ところに安らぎをもたらす環境の要因について、ヒトやモデル動物を用いた実験的研究を進めている。 ・軽度のストレス負荷状態で特定の感覚刺激を受容したときの大脳前頭皮質の活動。 そのとき脳の中で起きているニューロン活動や生理活性物質の変動について。 ・脳、特にストレス応答に関連する視床下部ニューロンの興奮状態を免疫組織化学とin situ ハイブリダイゼーション法を主な研究手段として定量形態学的に解析している。 ・ヒトとモデル動物に共通したところの脳機能としての情動(本能)の脳機構について、前頭葉・ニューロン・グルタミン酸・ペプチド・モノアミン・輸送体・遺伝子などをキーワードに感性やこころとして現れる脳のはたらきを「生命のかたち」の側面から追いかけている。 ・脳の切片作成→遺伝子・タンパク質の検出技法→顕微鏡観察における目の着けどころの習得→学会発表の仕方→英文学術論文の作成法まで、研究者として、或は企業の高度専門技術者として必要な専門知識と正確な技術に裏付けられた観察する確かな目の育成を目指している。
	解剖・発生学	教授 高橋 智 准教授 工藤 崇 准教授 一條 裕之 講師 依馬 正次 助教 濱田 理人 助教 大石 久史	Satoru Takahashi Takashi Kudo Hiroyuki Ichijo Masatsugu Ema Michito Hamada Hisashi Oishi	・大Maf群転写因子グループ 臓器形成および機能発現分子メカニズムを大Maf群転写因子の機能解析を中心にアプローチしている。 ・疾患感受性の分子機構の解明 ・血球・血管内皮細胞の発生・分化の分子機構の研究
	神経生物学	教授 志賀 隆 講師 先崎 浩次 助教 吉川 雅朗	Takashi Shiga Koji Senzaki Masaaki Yoshikawa	◆神経回路網の形成機構の解明 (1)モノアミンと神経ペプチドによる樹状突起の発達とシナプス形成の制御 (2)脳と行動の発達における環境要因とセロトニン神経系の役割 (3)Runxファミリー転写因子によるニューロンの分化と軸索投射の制御 (4)軸索反発因子とその作用機序
生化学	生殖生化学	教授 岡村 直道 講師 松田 学 助教 川島 明弘	Naomichi Okamura Manabu Matsuda Akihiro Kawashima	・精子成熟の分子機構 ・体細胞による雄性生殖細胞の機能制御機構の解析 ・内分泌攪乱物質の配偶子形成に及ぼす影響の解析 ・乳腺モノアミンの機能解析
	分子細胞生物学	教授 入江 賢児 助教 内木 隆寛 助教 水野 智亮	Kenji Irie Takahiro Naiki Tomoaki Mizuno	ほ乳動物細胞と酵母細胞(Yeast Genetics)の両方を用いることで、進化上保存された生命現象の新しい制御メカニズムを解明。 ・RNA制御から生命現象にアプローチ ・酵母を用いた遺伝学・分子生物学・細胞生物学の実験
	遺伝子制御学	教授 久武 幸司 准教授 福田 綾 助教 西村 健	Koji Hisatake Yoshimi Nakagawa Ken Nishimura	・転写伸長段階での転写制御 ・iPS細胞誘導のメカニズム ・RNA結合タンパク質を介した転写制御
	診断生化学	教授 浦山 修 助教 中川 嘉	Osamu Urayama Yoshimi Nakagawa	・陽性ストレスに関する研究 ・生活習慣病における糖・脂質代謝調節機構の解明に関する研究
	分子腫瘍学	教授 (渋谷) 准教授 内田 和彦	Kazuhiko Uchida	-
生理学	神経生理学	准教授 岩本 義輝	Yoshiki Iwamoto	視覚とサッカーボール運動—その可塑性のしくみ
	循環生理学	特命教授 照井 直人 助教 小金澤 禎史	Naohito Terui Tadachika Koganezawa	血圧を一定に保ちつつ血流配分はいかにして調節されるか?
	システム神経科学	教授 設楽 宗孝 講師 尾崎 繁 助教 水挽 貴至	Munetaka Shidara Shigeru Ozaki Takashi Mizuhiki	脳神経系の情報処理のメカニズムを探る—ニューロン、イメージングから計算論まで—
病理学	実験病理学	教授 加藤 光保 助教 渡邊 幸秀	Mitsuyasu Kato Yukihide Watanabe	がんとはどういう病気か。 TGF-βについて TGF-βによる標的遺伝子の転写調節について
	診断病理学	教授 野口 雅之 准教授 南 優子 講師 加野 准子	Masayuki Noguchi Yuko Minami Junko Kano	・癌の発生、進展の分子レベルでの解析 ・発がん機構とメチル化の解析 ・肝幹細胞の分化機序の分子生物学的解析
	腎・血管病理学	教授 長田 道夫 准教授 上杉 憲子	Michio Nagata Noriko Uesugi	・糸球体硬化機序の解明と斬新な治療法の開発 ・腎未分化間葉細胞の血管内皮細胞への分化誘導 ・多発性嚢胞腎の発生に関わるPKD-1遺伝子の役割(北海道大学と千葉大学との共同研究)

薬理学	分子薬理学	教授 講師	(金保 安則) 三輪 佳宏	Yoshihiro Miwa	<ul style="list-style-type: none"> ・ほ乳動物細胞中で安定に複製されるEBV-based vectorシリーズの開発 ・single Laser multi color Flow cytometryのための蛍光タンパク質の開発 ・生細胞内分子の可視化システム開発
	生理化学	教授 助教 助教	金保 安則 船越 祐司 本宮 綱記	Yasunori Kanaho Yuji Funakoshi Tsunaki Hongu	<ul style="list-style-type: none"> ・ホスホリパーゼD(PLD)の活性調節機構と生理機能の解析 ・ホスファチジルイノシトール 4-リン酸 5-メタン一ゼ(PIP5K)の活性調節機構と生理機能の解析 ・PIP5K活性化因子としての低分子量G蛋白質ARF6の生理機能解析
	分子神経生物学	教授 講師 講師 助教	榎 正幸 榎 和子 塩見 健輔 岡田 拓也	Masayuki Masu Kazuko Masu Kensuke Shiomi Takuya Okada	<ul style="list-style-type: none"> ・ネトリン受容体の同定 ・新規のスルファターゼ遺伝子の研究 ・多機能分子オートタキシンの研究 ・Wnt活性化因子Ccd1の解析 ・運動神経軸索ガイダンスに関する研究 ・神経細胞移動の研究
感染生物学	微生物学	教授 准教授 准教授	(永田 恭介) 斎藤 慎二 森川 一也	Sinji Sito Kazuya Morikawa	<ul style="list-style-type: none"> ・病原細菌の適応の仕組み ・宿主の病原細菌への応答
	ウイルス学	教授 准教授 助教 助教 助教	永田 恭介 竹内 薫 斎藤 祥子 加藤 広介 HO, Kiong	Kyosuke Nagata Kaoru Takeuchi Shoko Saito Kosuke kato HO, Kiong	<ul style="list-style-type: none"> ・ウイルス増殖と宿主側の生体防御反応 ・クロマチン制御とがんの発生機構
免疫学/ 遺伝医学	免疫学	教授 准教授 講師 助教 助教	渋谷 彰 渋谷 和子 本多 伸一郎 田原 聡子 小田 ちぐさ	Akira Shibuya Kazuko Shibuya Shin-ichiro Honda Satoko Tahara Chigusa Oda	<ul style="list-style-type: none"> ①DNAM-1 (CD226)、 ②IgM・IgAに対する免疫グロブリン受容体分子、 ③MAIR分子群、 <p>本研究室では、我々が世界に先駆けて発見した上記について、遺伝子から分子、細胞へ、さらに遺伝子操作マウスなどを用いて個体レベルへ還元して解析を行い、免疫システムの新しい基本原理を明らかにすることに挑戦している。</p>
	遺伝医学	教授 准教授 助教	有波 忠雄 野口 恵美子 飯嶋 良味	Tadao Arinami Emiko Noguchi Yoshimi Iijima	<p>複雑疾患・形質のゲノム科学</p> <p>◆精神疾患の遺伝学研究グループ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家系解析などにより、下記疾患や性質に関係している遺伝子・ゲノム領域の同定や遺伝の仕組みの解明 ・ヒトでリスクとなっている遺伝子を発見して、遺伝子改変動物を作成して行動解析を行い、分子病態を解明 ・治療反応性や副作用に関わる遺伝子や分子機序の解明を目指している <p>※統合失調症,アルコール,たばこなどの物質依存,神経性食欲不振症,不安,パーソナリティ</p> <p>◆喘息・アレルギーの遺伝学研究グループ</p> <ul style="list-style-type: none"> 家系解析などにより、下記疾患に関係している遺伝子・ゲノム領域の同定や遺伝の仕組みの解明 <p>※アトピー性喘息,アトピー性皮膚炎,花粉症</p>
先端医学	分子発生生物学	教授 講師	(大根田 修) 小林 麻己人	Makoto Kobayashi	<ul style="list-style-type: none"> ・毒にも薬にもなるストレス感知機構の研究 ・細胞ストレスと疾患発症の研究 ・血球分化のなぞを知る研究 ・感覚器形成の研究
	再生医学	教授 助教 助教 講師 講師 講師	大根田 修 山下 年晴 Georgina To'a Salazar 三好 浩稔 大川(鎮西)敬子 柳 健一	Osamu Ohneda Toshiharu Yamashita Georgina To'a Salazar Hirotoshi Miyoshi Keiko Oookawa Chinzei Kenichi Yanagi	<ul style="list-style-type: none"> ◆組織幹細胞プロジェクト ・治療効果の高い組織幹細胞を単離・増殖し、その機能をより発揮できるような環境を探索する ・治療効果を妨げる要因を特定し、再生を妨げる障害物をできるだけ少なくする環境を整える ◆低酸素応答プロジェクト ・HIF遺伝子の分子機能解析はもちろんのこと遺伝子改変マウスを用いた解析によって実際に生体内で起きているHIFの作用機構解明 ◆未来医療プロジェクト ・MSCを用いた悪性脳腫瘍(GBM)に対する細胞治療の研究開発 ・EPCあるいはMSCを用いた虚血性疾患に対する細胞治療の研究開発 ◆胚性幹細胞プロジェクト
実験動物学	実験動物学	教授 准教授	八神 健一 杉山 文博	Ken-ichi Yagami	<ol style="list-style-type: none"> 1. パルボウイルスによる宿主遺伝子の修飾機構に関する研究 2. helicobacter hepaticusの病原因子の解析と新規診断法の開発 3. 近交系マウス・ラットES細胞ライブラリーの開発 4. 単一遺伝子変異マウスからの原因遺伝子解析
放射線基礎医学	放射線生物学	教授	坪井 康次	Koji Tsuboi	<ul style="list-style-type: none"> ◆基礎研究 ・頭蓋内病変に対する陽子線治療の最適化に関する研究 ・放射線と腫瘍免疫の相互作用 ◆臨床研究 ・頭蓋内疾患に対する陽子線治療 ・肝がんに対する陽子線免疫融合療法

医学物理学	教授 准教授 講師 助手	榮 武二 熊田 博明 安岡 聖 照沼 利之	Takeji Sakae Hiroaki Kumada Satoshi Yasuoka Toshiyuki Terunuma	<ul style="list-style-type: none"> ・積層型エネルギーフィルターによる新しい陽子線治療技術の開発 ・新しい治療計画線量分布計算アルゴリズムの開発 ・次世代汎用粒子線治療計画システムの開発 ・加速器ベース中性子捕捉療法のための医用中性子照射場の最適設計 ・中性子捕捉療法における生体内線量分布リアルタイム計測技術の開発 ・回転ガントリーのアイソセクター測定システムの開発 ・γ線検出器による陽子線線量分布測定システムの開発 ・シンチレータ板による陽子線線量分布測定の高速・高精度化 ・陽子線治療に対応した動体追跡照射法の開発 ・高精度患者位置決めシステムの開発と臨床導入 ・陽子線照射時の音響波によるリアルタイム体内線量分布測定 ・磁気共鳴スペクトロスコピーを用いた脳内代謝に関する研究 ・生体機能情報に基づく放射線治療計画システムの開発 ・放射線治療時に発生する中性子に関する基礎的研究
英語教育	-	准教授 宮増 フラミア	Flaminia Miyamasu	-

●臨床医学

講座	氏名	氏名	研究内容	
循環器内科	教授	青沼 和隆	Kazutaka Aonuma	<ul style="list-style-type: none"> ◆心房細動に対する有効な治療法の基礎研究 動物にペースメーカーを植え込み、心房を早いレートで刺激することにより心房細動モデルを作成し、さまざまな治療法を組み合わせて心房細動を抑えることができるかどうかを検討している。
	教授	宮内 卓	Takashi Miyauchi	
	教授	渡辺 重行	Shigeyuki Watanabe	
	教授	本間 覚	Satoshi Homma	
	教授	久賀 圭祐	Keisuke Kuga	
	教授	河野 了	Satoru Kawano	
	准教授	冨田 浩	Hiroshi Tada	
	准教授	瀬尾 由広	Yoshihiro Seo	
	准教授	佐藤 明	Akira Satou	
	准教授	武安 法之	Noriyuki Takeyasu	
	講師	酒井 俊	Satoshi Sakai	
	講師	村越 伸行	Nobuyuki Murakoshi	
	講師	関口 幸夫	Yukio Sekiguchi	
	講師	石津 智子	Tomoko Ishizu	
	講師	下條 信威	Nobutake Shimojo	
	講師	星 智也	Tomoya Hoshi	
	講師	腰野結希	Yuki Koshino	
	講師	五十嵐 都	Miyako Igarashi	
	講師	西 功	Isao Nishi	
	助教	野上 佳恵	Yoshie Nogami	
助教	許 東洙	Kyo Tousyu		
病院講師	木村 泰三	Taizou Kimura		
病院講師	金城 貴士	Takashi Kaneshiro		
循環器外科	教授	榎原 謙		<ul style="list-style-type: none"> ・人工心肺(体外循環)が血液に及ぼす影響の解析とその薬理的制御に関する研究 ・小児循環器疾患、小児心臓外科に関する研究
	教授	筒井 達夫(医療科学類)		
	准教授	平松 祐司		
	講師	松下 昌之助		
	病院講師	野間(松崎)美		
	講師	佐藤 藤夫		
	病院講師	金本 真也		
	講師	榎本 佳治		
講師	坂本 裕昭			
病院講師	相川 志都			
臨床検査医学	教授	川上 康		<ul style="list-style-type: none"> ・脂肪細胞の分化増殖機序とインスリン抵抗性の解明 ・糖尿病血管合併症の病態の解明 ・運動負荷の脂質代謝に及ぼす効果 ・褐色細胞腫の原因遺伝子および遺伝子発現検索 ・造血器腫瘍の遺伝子解析 ・白血病関連遺伝子の機能解析
	准教授	竹越 一博		
	講師	磯部 和正		
	講師	鈴川 和己		

<p>消化器内科</p>	<p>教授 兵頭 一之介 教授 正田 純一 准教授 溝上 裕士 准教授 安部井 誠人 講師 松井 裕史 講師 福田 邦明 講師 鈴木 英雄 講師 森脇 俊和 病院教授 瀬尾 恵美子 講師 石毛 和紀 講師 金子 剛 病院講師 奈良坂 俊明 病院講師 遠藤 慎治</p>	<p>Hyodo Ichinosuke Shoda Junichi Mizokami Yuji Abei Masato Matsui Hirohumi Fukuda Kuniaki Suzuki Hideo Moriwaki Toshikazu Seo Emiko Ishige Kazunori Kaneko Tsuyoshi Narasaka Toshiaki Endou Sinji</p>	<p>◆臨床試験 ・切除不能な大腸癌症例におけるセツキシマブを含む一次治療の観察研究</p>
<p>消化器外科</p>	<p>教授 大河内 信弘 准教授 佐々木 亮孝 講師 小田 竜也 講師 福永 潔 講師・医局長 稲川 智 講師 榎本 剛史 講師 小林 昭彦 講師 橋本 真治 講師 久倉 勝治 講師 高野 恵輔 病院講師 田村 孝史 臨床教授(病院) 山本 雅由 臨床准教授(病院) 松尾 亮太</p>	<p>◆肝疾患治療法開発グループ ・血小板による肝再生促進作用 ・血小板による肝再生促進効果のメカニズム解析 ・血小板による肝線維化抑制効果 ・血小板による肝線維化抑制効果のメカニズムの解明 ・血小板による劇症・急性肝炎抑制効果の検討 ・慢性肝炎・肝硬変に対する血小板増加による肝再生・抗線維化効果の検討</p> <p>◆RNA研究グループ ・血液を用いたRNAの解析</p> <p>◆抗がんナノ粒子グループ ・抗がんナノ粒子を使った電磁誘導加熱抗がん治療</p>	
<p>放射線科</p>	<p>教授 南 学 准教授 東野 英利子 准教授 増本 智彦 講師 岡本 嘉一 講師 高橋 信幸 講師 田中 優美子 講師 那須 克宏 講師 森 健作 病院講師 椎貝 真成</p>	<p>Manabu Minami Eriko Tohno Tomohiko Masumoto Yoshikazu Okamoto Nobuyuki Takahashi Yumiko Oishi Tanaka Katsuhiko Nasu Kensaku Mori Shiigai Masanari</p>	<p>・ヨード造影剤の体内動態 ・肝臓における血流動態の放射線医学的検討 ・画像・病理相関(radiologic-pathologic correlation) ・マンモグラフィ検診 ・乳房疾患の画像診断 ・腹部超音波検査 ・画像・病理相関(骨軟部、婦人科領域) ・救急画像診断 ・スポーツ ・子宮・卵巣腫瘍の画像と病理所見との対比 ・新しいMR撮像法の婦人科領域への応用 ・MRI・CTの心臓疾患への応用</p>
<p>呼吸器内科</p>	<p>教授 檜澤 伸之 教授 大塚 盛男 教授 佐藤 浩昭 教授 寺本 信嗣 教授 坂本 透 准教授 石井 幸雄 講師 森島 祐子 講師 栗島 浩一 講師 川口 未央 講師 本間 晋介 講師 籠橋 克紀 講師 小川 良子</p>	<p>ひざわのぶゆき おおつか もりお さとう ひろあき てらもと しんじ さかもと とおる いしい ゆきお もりしま ゆうこ くりしま こういち かわぐち みおう ほんま しんすけ かごはし かつのり おがわ りょうこ</p>	<p>・気管支喘息の病態生理に関する研究 ・気管支喘息の遺伝要因に関する研究 ・誘発喀痰を利用した気管支喘息バイオマーカーに関する研究 ・喘息患者末梢血を用いた創薬候補標的分子の機能解析 ・NKT細胞を利用した気管支喘息治療法の開発 ・過敏性肺炎の病態生理に関する研究 ・好酸球性肺炎の病態生理に関する研究 ・慢性閉塞性肺疾患の病態生理に関する研究 ・慢性閉塞性肺疾患の遺伝要因に関する研究 ・転写因子を標的とした慢性閉塞性肺疾患の治療法の開発 ・急性肺損傷(ALI/ARDS)の病態生理に関する研究 ・転写因子を標的とした急性肺損傷(ALI/ARDS)の治療法の開発 ・間質性肺炎・肺線維症の病態生理に関する研究 ・間質性肺炎・肺線維症の診断と治療 ・転写制御による肺癌の増殖および抗癌剤耐性抑制に関する研究 ・化学発癌予防に関する研究 ・原発性肺癌患者の臨床情報集積研究 ・進行・再発非小細胞肺癌初回治療終了後患者の観察研究 ・肺癌臨床検体における遺伝子変異と抗癌剤耐性との関係の研究 ・病原微生物に対する宿主応答とその制御に関する研究 ・呼吸リハビリテーションに関する研究 ・大気汚染と肺疾患に関する研究 ・呼吸器疾患の症例解析</p>
<p>呼吸器外科</p>	<p>佐藤 幸夫 鬼塚 正孝 南 優子 酒井 光昭</p>	<p>さとう ゆきお おにづか まさたか みなみ ゆうこ さかい みつあき</p>	<p>・急性呼吸窮迫症候群(ARDS)発症メカニズムの解明と治療法の研究</p>

		後藤 行延 菊池 慎二 倉持 雅己 井口 けさ人	ごとう ゆきのぶ きくち しんじ くらもち まさみ いぐち けさと	
放射線腫瘍科	教授 教授 教授 准教授 講師 講師 講師	櫻井 英幸 坪井 康次 奥村 敏之 石川 仁 盛武 敬 橋本 孝之 水本 斉志		<ul style="list-style-type: none"> ◆臨床研究 <ul style="list-style-type: none"> ・医用画像を有効利用した新しい治療計画法の開発 ・肝細胞癌に対する陽子線治療の標準化 ・陽子線治療による副作用低減の研究 ・陽子線治療が医療用精密機器に与える影響についての研究 ◆生物研究 <ul style="list-style-type: none"> ・温熱療法(ハイパーサーミア)による放射線増感効果に関する研究 ・放射線による生物作用の初期過程の解析 ・陽子線治療効果を高める免疫補助療法の基礎的・臨床的研究 ・医療被ばくの測定法と防護に関する研究
腎臓内科	教授 准教授 准教授 講師 講師 講師 講師	山縣 邦弘 鶴岡 秀一 楊 景堯 斎藤 知栄 森戸 直記 臼井 丈一 甲斐 平康	Kunihiro Yamagata Shuichi Tsuruoka Keigyou Yoh Chie Saito Naoki Morito Joichi Usui Hirayasu Kai	<ul style="list-style-type: none"> ・急速進行性糸球体腎炎の全国疫学調査 ・糸球体疾患の発症進展機構の解明と治療法の開発 ・尿細管機能の解析とハイブリット型人工腎臓の開発 ・腎疾患と転写因子 ・地域医療連携、腎臓病と栄養、腹膜透析 ・MaFBによる糸球体上皮細胞足突起構成分子の発現制御と糖尿病性腎症の関連 ・腎臓と幹細胞 ・IgA腎症、半月体形成、ポドサイト障害に関するバイオマーカーの探索
泌尿器外科	教授 教授 准教授 講師 講師 講師 講師 病院講師 病院講師	西山 博之 河合 弘二 宮崎 淳 小野澤 瑞樹 及川 剛 末富 崇弘 小島 崇宏 高岡 栄一郎 木村 友和		<ul style="list-style-type: none"> ◆臨床研究 <ul style="list-style-type: none"> ・エベロリムス ・テムスロリムス ・腎癌新規腫瘍マーカー開発 ・泌尿器科疾患ゲノム解析研究会 ・前立腺癌患者の循環癌細胞解析 ・前立腺癌患者における背景因子、初期治療に関する実態調査研究
臨床薬理学	教授 准教授 病院講師 病院講師	幸田 幸直 本間 真人 土岐 浩介 百 賢二		<ul style="list-style-type: none"> ◆薬物代謝酵素と輸送タンパクの遺伝子多型解析に関する研究 ・フレカイニドおよびプロパフェノンの血中濃度におよぼすCYP2D6 遺伝子多型の影響 ・CYP1A2を介したチザニジンの薬物相互作用に関する研究 ・ENT1を介したリバピリンの赤血球内取り込みに関する研究 ・CYP2C19 遺伝子多型が免疫抑制薬とPPIの薬物相互作用におよぼす影響 ◆その他 <ul style="list-style-type: none"> ・IFNとリバピリンの併用療法における赤血球中RBV濃度がヘモグロビン低下におよぼす影響 ・覚醒曲線を用いた睡眠薬の臨床評価とその応用 ・薬物速度論に基づく漢方薬の副作用、相互作用解析 ・メトトレキサートの血中濃度におよぼすPPI併用の影響 ・がん治療誘発性の口腔粘膜炎に対するインドメタシンスプレー製剤の臨床応用 ・生体内分解性高分子を用いたDDSの開発 ・塩酸クロニジン口腔内崩壊錠の調製と臨床応用
代謝・内分泌	教授 准教授 准教授 講師 講師 講師 助教 准教授	島野 仁 鈴木 浩明 矢作 直也 矢藤 繁 小林 和人 岩崎 仁 石井 清朗 松坂 賢	Hitoshi Shimano Hiroaki Suzuki, Naoya Yahagi Shigeru Yatoh, Kazuto Kobayashi, Hitoshi Iwasaki Kiyoo-aki Ishii Takashi Matsuzaka	<ul style="list-style-type: none"> ・脂質合成転写因子 SREBP-1c の研究 ・エネルギー代謝転写因子ネットワークによるホメオスタシスの研究 ・新規生活習慣病改善転写因子 TFE3 の研究 ・肝臓特異的転写因子 CREBH の研究 ・脂肪酸伸長酵素 Elovl6 の研究

乳 腺・甲 状 腺・内 分 泌 外 科	-	臨床研究 ・乳癌、甲状腺癌、副腎腫瘍、副甲状腺腫瘍の診断や治療などに関する研究 ◆基礎研究 ・乳癌の微小環境と腫瘍転移に関する研究 ・筑波大学再生医学・医工学研究室乳がんの幹細胞の機能解析などの研究 ・筑波大学免疫学研究室と共同で、発癌における免疫系の機能解析などの研究 ・筑波大学臨床病理研究室と共同で、褐色細胞腫の機能解析などの研究
膠原病・リウ マチ・アレルギー	教授 住田 孝之 准教授 松本 功 准教授 後藤 大輔 講師 千野 裕介 准教授 林 太智 講師 鈴木 豪 講師 坪井 洋人 病院講師 荻島 博 病院講師 杉原 誠人 講師 坪井 洋人 病院講師 堀越 正信 助教 井上 明日香 助教 瀬川 誠司	◆基礎研究 A.関節リウマチ 1.新規関節炎モデルマウスを用いた研究 2.T細胞転写因子の関節炎への影響に関する研究 3.Altered peptide ligand (APL)による関節炎制御に関する研究 4.NKT細胞を介した関節炎制御に関する研究 B.シェーグレン症候群・IgG4関連疾患) 1.シェーグレン症候群の病因・病態の解明—自己反応性T細胞と病態 2.シェーグレン症候群の病因・病態の解明—自己抗体と病態 3.IgG4関連疾患の病因・病態の解明 C.全身性エリテマトーデス 1.PD-1欠損マウスにおける全身性エリテマトーデス様病態の研究(詳細) 2.全身性エリテマトーデスにおけるIL-21の機能解析 D.強皮症 強皮症発症機構の解明と制御 E.間質性肺炎 間質性肺炎における $\gamma\delta$ T細胞の機能解析(詳細) ◆臨床研究 A.コンパクトMRI装置の開発と臨床応用 B.コンパクトMRI画像 vs US画像
脳神経外科	松村 明 Akira Matsumura 高野 晋吾 Shingo Takano 鮎澤 聡 Satoshi Ayuzawa 鶴嶋 英夫 Hideo Tsurushima 山本 哲哉 Tetsuya Yamamoto 中居 康展 Yasunobu Nakai 中井 啓 Kei Nakai 石川 栄一 Eiichi Ishikawa 阿久津 博義 Akutsu Hiroyoshi 井原 哲 Ihara Satoshi 松田 真秀 Matsuda Masahide 中村 和弘 Nakamura Kazuhiro	◆脳腫瘍に対する血管新生抑制療法の開発 ◆画像診断の研究
血液内科	教授 千葉 滋 Shigeru Chiba 准教授 長谷川 雄一 Yuichi Hasegawa 講師 鈴川 和己 Kazumi Suzukawa 准教授 大越 靖 Yasushi Ookoshi 講師 小原 直 Naoshi Obara 講師 坂田 麻実子 Mamiko Sakata 講師 横山 泰久 Yasuhisa Yokoyama 講師 錦井 秀和 Hidekazu Nishikii 講師 栗田 尚樹 Naoki Kurita 講師 関 正則 Masanori Seki	・DNA切断の修復を手軽に評価したい ・血幹細胞の維持機構と血球分化機構の解明 ・血管腫瘍における原因遺伝子産物の機能解析および疾患モデルの作製 ・骨髄性白血病における遺伝子変異解析 ・ントル細胞リンパ腫に関する多施設共同後方視的研究 ・KI治療経過中に染色体異常を来した慢性骨髄性白血病に関する全国調査
形成外科	教授 関堂 充 講師 遠藤 隆志 講師 富樫 真二 講師 足立 孝二	-

病理部	教授 野口 雅之 Masayuki Noguchi 病院教授 森下 由紀雄 Yukio Morishita 准教授 南 優子 Yuko Minami 准教授(水戸地域医療教育センター) 高屋敷 典生 Norio Takayashiki 講師 加野 准子 Junko Kano 講師 坂下 信悟 Shingo Sakashita 非常勤講師 稲留 征典 Yukinori Inadome 非常勤講師 臺 勇一 Yuichi Dai 助教 竹内 朋代 Tomoyo Takeuchi 助教 里見 介史 Satomi Mori		・癌の発生、進展の分子レベルでの解析 ・がん機構とメチル化の解析 ・肝幹細胞の分化機序の分子生物学的解析 ・前立腺癌の腫瘍形成部位の検出法の確立
神経内科	玉岡 晃 Akira Tamaoka 渡邊 雅彦 Masahiko Watanabe 石井一弘 Kazuhiro Ishii 石井 亜紀子 Akiko Ishii 中馬越 清隆 Kiyotaka Nakamagoe 富所 康志 Yasushi Tpmidokoro 詫間 浩 Hiroshi Takuma		-
卒後臨床研修部	-		総合臨床教育センター
精神医学	教授 朝田 隆 講師,医局長 佐藤 晋爾 准教授 新井 哲明 講師 石川 正憲 講師 久永 明人 講師 根本 清貴 准教授(保険管理) 堀 孝文 講師 太刀川 弘和 助教 石井 映美		・予防・疫学的研究 ・プロテオミクス研究 ・分子遺伝学研究 ・薬理学的研究 ・病理学研究 ・脳機能画像研究
整形外科 整形外科診療グループ	教授 落合 直之 准教授 石井 朝夫 准教授 坂根 正孝 講師 西浦 康正 講師 三島 初 講師 原 友紀 講師 鎌田 浩史 講師 西野 衆文 准教授 江口 清 講師 馬見塚 尚孝		◆運動器系制御医学分野 ・骨欠損、軟骨欠損の修復 ・骨壊死の治療法の開発 ・靭帯骨固着法の開発 ・神経延長、圧迫の病態生理の研究 ・脊椎外科の最小侵襲手技の開発 ・人工関節分野の研究
整形外科 スポーツ医学グループ	教授 宮川 俊平 准教授 向井 直樹 講師 金森 章		-
皮膚科	教授 大塚 藤男 おおつか ふじお 准教授 川内 康弘 かわち やすひろ 講師 石井 良征 いしい よしゆき 講師 中村 泰大 なかむら やすひろ 講師 古田 淳一 ふるた じゅんいち 講師 藤澤 康弘 ふじさわ やすひろ		・表皮ケラチノサイトの分化(角化)機構の研究 ・皮膚悪性腫瘍に対する免疫療法の研究 ・皮膚悪性腫瘍におけるエピジェネティクスの研究
眼科	教授 大鹿 哲郎 准教授 加治 優一 講師 岡本 史樹 講師 平岡 孝浩 講師 岡本 芳史 講師 石井 晃太郎		-

歯・口腔	教授 准教授 講師 助教 病院講師	武川 寛樹 柳川 徹 山縣 憲司 篠塚 啓二 伊藤 寛之	Hiroki Bukawa Toru Yanagawa Kenji Yamagata Keiji Shinozuka Hiroyuki Ito	<ul style="list-style-type: none"> ・抗癌キメラペプチドを用いた口腔癌の分子標的治療 ・マイクロRNAを用いた口腔癌診断 ・歯髄幹細胞を用いた再生医療の研究 ・遺伝子ノックアウトマウスを用いた口腔疾患の解析 ・酸化ストレスタンパク質を用いた腫瘍マーカーの開発
小児科	教授 教授 教授 病院教授 病院教授 病院教授 講師 講師 講師 診療講師 診療講師 講師 病院講師 病院講師 病院講師	須磨崎 亮 宮本 信也 竹田 一則 鴨田 知博 堀米 仁志 宮園 弥生 工藤 豊一郎 福島 敬 大戸 達之 高橋 実穂 田中 竜太 小林 千恵 齋藤 誠 加藤 愛章 西村 一記 藤山 聡 金井 雄	すまぎき りょう みやもと しんや たけだ かずのり かもだ ともひろ ほりごめ ひとし みやぞの やよい くどう とよいちろう ふくしま たかし おおと たつゆき たかはし みほ たなか りゅうた こばやし ちえ さいとう まこと かとう よしあき にしむら かずのり ふじやま さとし かない ゆう	<ul style="list-style-type: none"> ・臍臓の分子発生的研究 ・小児の心身症に関する研究 ・高機能自閉症に関する研究 ・子どもへの虐待に関する研究 ・バイオマーカーを用いた病弱児におけるストレス評価に関する研究 ・成長ホルモン結合蛋白の研究 ・小児期メタボリック症候群における凝固線溶系に関する研究 ・先天性心臓病の血栓止血機能と血管内皮機能に関する研究 ・小児期不整脈に対するカテーテル治療 ・胎児新生児期不整脈の診断と治療に関する研究 ・新生児蘇生法教育-シミュレーターを用いた効果的な手法の研究 ・ヒト白血病細胞移植マウスを用いた病態解析 ・敗血症児と低リン血症に関する研究 ・小児白血病/リンパ腫前方視的共同治療研究 ・小児造血器腫瘍の標準的治療法の確立に関する共同研究 ・小児造血器腫瘍の標準的治療法の確立に関する共同研究 ・移植片対宿主病に対する遺伝子治療 ・薬物代謝遺伝子変異・多型の臨床的意義 ・HLA不一致ドナーからの造血細胞移植の安全性を高めるための遺伝子治療に関する臨床研究 ・発達脳における髄鞘化とMR画像変化
耳鼻咽喉科	教授 准教授 准教授 講師 講師 講師	原 晃 和田 哲郎 大久保 英樹 田淵 経司 上前泊 功 西村 文吾 田中 秀峰	はら あきら わだ てつろう おおくぼ ひでき たぶち けいじ うえまえとまりいさお にしむら ぶんご たなか しゅうほう	<ul style="list-style-type: none"> ・感音難聴の治療 ◆臨床研究 <臨床学的研究> ・上顎癌や喉頭癌などの頭頸部腫瘍に対する治療に関して、手術・放射線治療・化学療法などを適宜組み合わせで行っている。 ・治療成績などを比較検討し、治癒率の向上に日々努めている。
産婦人科	教授 准教授(病 院教授) 准教授 准教授 講師 講師 講師 講師 講師 講師 病院講師 病院講師 病院講師	吉川 裕之 濱田 洋実 佐藤 豊実 松本 光司 水口 剛雄 小畠 真奈 小倉 剛 小貫 麻美子 越智 寛幸 安部 加奈子 八木 洋也 永井 優子 櫻井 学 吉川 智之	◆臨床研究 ・再発子宮体癌におけるプラチナ製剤free期間が化学療法の効果に及ぼす影響の後方視的検討 ・子宮体癌II期における子宮摘出方法の後方視的検討 ・子宮頸癌中間リスク症例における放射線治療の意義と後遺症の発生について ・再発卵巣がん患者におけるPFSとフォローアップ間隔に関する検討 ・Yolk Sac Tumor (卵黄嚢腫瘍)の治療結果に関する調査研究 てんかん女性における計画妊娠の有用性に関する後方視的研究	
リハビリテー ション部	准教授 病院講師	上野 友之 上野 友之		<ul style="list-style-type: none"> ・回復途上にある障害が、実際にどの程度まで良くなるのか、限界をもたらしている問題は何かなどについてできるだけ正確に捉えること、必要に応じて生活の質 (quality of life; QOL) を考慮した代償手段を速やかに提供できるようになること。 ・心理的な問題をも含むQOLの状況を把握するとともに、阻害因子そのものの解決策についても探求を続けている。 ・本学システム情報工学研究科で開発された装着型ロボットであるロボットスーツHAL TM (Hybrid Assistive Limb)をリハビリテーション医療に活用する研究も進めています。
麻酔診療		田中誠 猪股 伸一 高 橋宏 水谷 太郎 福田 妙子 高橋 伸二 山本 純偉 星 拓男	たなかまこと いのまた しんいち たかはし ひろし みずたに たろう ふくだ たえこ たかはし しんじ やまもと すみい ほし たくお	<ul style="list-style-type: none"> ・動脈圧受容体反射・心臓迷走神経反射の解析 ・脳表血管の直接観察 ・Langendorff heartによる心臓に対する薬物の直接作用 ・疼痛モデルと疼痛評価法 ・麻酔薬が中枢神経細胞に及ぼす作用の電気生理学的観察 ・人工呼吸中の無気肺に対する呼吸時胸郭圧迫法 ・テラーメイド医療を目標とした遺伝多型の解析 ・手術部の効率運営 ・術後の鎮痛薬必要量の検討 (心臓のバイパス術後に手術室で抜管できる濃度、至適濃度) ・気管挿管の安全性向上

		清水 雄 大坂 佳子 山下 創一郎 左津 前剛 中山 慎	しみず たける おおさか よしこ やましたそういちろう まつもと たかひろ なかやま しん	・β遮断薬の有効利用 ・硬膜外麻酔の安全性向上 ・小児麻酔の安全性向上 ・各種デバイスの有効性調査 ・麻酔薬の性差および個人差の解明／薬物血中濃度の解析
臨床医学教育	講師 講師 講師	高屋敷明由美 中村 明澄 前野 貴美	たかやしき あゆみ なかむら あすみ まえの たかみ	・医学教育におけるプライマリ・ケアの位置づけ ・一般住民・患者の卒前医学教育や研修医の能力に対する認識の調査 ・卒前教育プログラムを企画・実施をするために重要な、2004年度より筑波大学で導入したPBLテュートリアル(問題解決型の小グループ学習)中心のカリキュラムの教育効果 ・筑波大学医学専門学群卒業生からの卒前教育に対する認識の調査
水戸地域医療教育センター	教授	曾根 博仁		・糖尿病と結びつきの強い肥満指標は？ ・米国糖尿病学会の新しいPre-diabetes(前糖尿病状態)診断基準におけるHbA1c(国際標準値)5.7?6.4%と空腹時血糖値異常による糖尿病発症の予測能の違いは？ ・インターネットを使用した減量指導効果の現状は？ ・血清カリウム低値と2型糖尿病発症との関連は？ ・適量の飲酒は心筋梗塞などの虚血性心疾患リスクを下げるとされていますが、心房細動のリスクも下げる？ ・運動持久力が心臓病の予防に重要だといわれていますが、どの程度の運動能力が必要？ ・糖尿病患者さんがたばこを吸うとどのような悪影響がある？ ・糖尿病患者さんにおいてウェスト周囲径を測定する意義は？ ・血中尿酸値と糖尿病発症との関係は？ ・糖尿病の食事療法では、炭水化物と脂肪のどちらを多くすると良い？ ・血中の善玉コレステロールは運動によって上がることが知られているが、具体的にはどのように運動すると一番良い？ ・国際的に見た日本の若い女性の痩せすぎの現状はどうなっている？ ・高校時代の体力はその後の寿命に影響するでしょうか？ ・高校時代の肥満度はその後の寿命に影響する？ ・日本の糖尿病患者さんは肥満している？ ・糖尿病患者さんは食べ過ぎ？

●社会医学

講座	氏名	氏名	研究内容	
疫学	教授 准教授 講師 助教 助教	我妻 ゆき子 高橋 秀人 岡田 昌史 馬 恩博 内藤 隆宏	わがつま ゆきこ たかはし ひでと おかだ まさふみ ま えんぼ ないとう たかひろ	・世界で問題となる重要疾病の治療や予防に関する研究 ・臨床試験に関する研究 ・生物統計学の方法の開発およびその応用に関する研究 ・臨床研究におけるデータマネージメント
精神保健学	講師	森田 展彰	Nobuaki Morita	・司法精神医学 ・地域精神保健 ・物質乱用 ・精神機能の評価法 ・災害精神医学 ・地域のこども虐待防止と被虐待児への心理療法の実践
法医学	教授 助教	本田 克也 菅野 幸子	ほんだ かつや すがの ゆきこ	・法医学的遺体形質に関する研究 ・各種薬毒物の代謝ならびに中毒のメカニズムの解明に関する研究 ・古代医学史と医療倫理の研究
福祉医療学		柳 久子 奥野 純子	Hisako Yanagi Junko Okuno	・骨粗鬆症、肥満、高脂血症、脳血管障害、腎不全・血液透析に関する研究 ・福祉医療に関する研究
分子遺伝疫学 / 社会健康医学	名誉教授 名誉教授 教授 准教授 講師	小町 喜男 嶋本 喬 土屋 尚之 大橋 順 山岸 良匡	Komachi Yoshio Shimamoto Takashi Tsuchiya Naoyuki Ohashi Jun Yamagishi Kazumasa	◆分子遺伝疫学チーム ・自己免疫疾患 ・ヒトゲノム多様性 ◆社会健康医学チーム ・地域や職域において主に生活習慣病(脳卒中、虚血性心疾患、高血圧、高脂血症、糖尿病、がん等)の発病要因の疫学的解明と1次、2次、3次にわたる組織的な予防対策
保健医療政策学	教授 教授 准教授	大久保一郎 本田靖 近藤正英	Okubo Ichiro Honda Yasushi Kondo Masahide	・保健医療政策の臨床経済学的評価 ・検診・予防接種の費用効果分析 ・国民医療費の分析 ・地球温暖化の健康影響評価、有機ヒ素など環境要因の疫学研究 ・経済学の保健医療政策学への応用 ・途上国の財源制度

●看護科学

講座	氏名	研究内容
環境看護学	川口 孝泰 Takayasu Kawaguchi 浅野 美礼 Yoshihiro Asano	・「人間-環境系」の考え方に基づいて、人間の健康回復に関する生活環境への働きかけが、対象に対してどのような効果をもたらすのかについて
地域健康看護学	教授 高田 ゆり子 教授 坂田 由美子 准教授 山海 知子 講師 吉岡 洋治	-
精神保健看護学	- 森千鶴 - 岡田佳詠 - 三木明子	・統合失調症者の看護に関する研究 ・薬物・アルコール依存症者の看護に関する研究 ・摂食障害者の看護に関する研究 ・気分障害患者の看護に関する研究 ・看護師の認知行動療法の効果に関する研究 ・集団認知行動療法の効果に関する研究 ・惨事ストレスを被った看護職員に対する危機後の支援方法に関する研究 ・病院職員への暴力のリスクマネジメントプログラムの開発に関する研究 ・東アジアにおける惨事ストレスに関する総合的研究
母性看護学・助産学	教授 江守 陽子 准教授 村井 文江 准教授 小泉 仁子 助教 川野 亜津子 助教 山海 千保子	・母子保健・地域母子保健制度に関する評価研究 ・女性の精神的・身体的ストレスマネジメント ・周産期看護方法 ・母性感情を促進あるいは阻害する要因分析および親と子のアタッチメント研究 ・新生児の看護・育児支援 ・母性看護学・助産学教育 ・性教育・性感染症予防支援
国際発達ケア	教授 安梅 勅江	・当事者主体のコミュニティ・エンパワメント研究技術開発 ・最先端科学とケア科学の学際学融合：生涯発達コホート研究を用いて
ヘルスサービスリサーチ	教授 田宮 菜奈子 講師 柏木 聖代	・介護保険・支援費制度の縦断的評価研究（サービス利用・介護度の変遷・施設入所・家族介護負担度などのアウトカムと制度との関係） ・高齢者・障害者の在宅ケアの質の評価 ・医療におけるジェンダー・家族の役割 ・転倒・褥瘡等のアウトカムに基づく施設ケアの質の評価・向上 法医公衆衛生学 ・高齢者の機能向上プログラムの評価 ・小児保健サービスの評価検証 ・高齢者施設におけるターミナルケア ・医療福祉システムの国際比較（ドイツ介護保険の介護者擁護システム） など